

会場	第1会場 さらさ〜ら	第2会場 岐阜都ホテル 漣	第3会場 大会議室 1	第4会場 国際会議室
収容人数	1,689 席	365 席	270 席	180 席
8:00-8:59	8:00~ 開場・受付			
9:00-9:59	8:50~9:00 開会挨拶 西村幸祐・澤井美穂 9:00~9:50 大会長講演 「自分らしく逝くために」を支える ところを受け継ぎ、伝える 西村幸祐・澤井美穂 〔特別提言〕渡邊 正 ◆245		9:10~10:40 パネルディスカッション 1 終末期患者を支える地域医療 —わたしを変えた失敗と学び 小笠原文雄, 入学佳宏, 宇都宮宏子, 野崎加世子 ●吉村 学, 石口房子 共催：公益財団法人 在宅医療 助成 勇美記念財団 ◆276	9:20~10:50 パネルディスカッション 2 がんサバイバーを支える緩和 ケア・サロン 柴田岳三 宇根底亜希子 藤井恭子 ●阿部まゆみ ●安藤詳子 ◆280
10:00-10:59	10:00~11:00 教育講演 1 アドバンス・ケア・プランニング 木澤義之 ●堀 泰祐 ◆249	10:00~10:50 教育講演 2 看取りのケアのクリニカルパス Liverpool Care Pathway 日本語版の現在とこれから 茅根義和 ●細井 順 ◆250		
11:00-11:59		11:00~11:50 特別企画 39 Project Gift from GIFU 1 「死生観・円空の生き方死に方」 —12万体温遺仙の背景にある人間の苦悩から 大下大圓 ●比嘉勇人 ◆286	11:00~11:50 特別企画 39 Project Gift from GIFU 2 「東洋のシンドラ」杉原千畝に学ぶ 國枝大索 ●石垣靖子 ◆287	11:00~11:50 教育講演 3 源流に遡る、そして河を下る —ホスピス緩和ケアの変化と多様化 志真泰夫 ●中橋 恒 ◆251
12:00-12:59	12:00~12:50 特別企画 39 Project Gift from GIFU 3 音楽療法企画 「人生の最期に聞きたい曲は何ですか？」 濱島秀行, 河村飛鳥, 北村多佳子, 一万田正彦 ●一万田正彦 ◆288	12:00~12:50 セミナー1 家族・遺族をケアする方々のために 大西秀樹 ●石黒 崇 ◆292	12:00~12:50 セミナー2 ケア提供者の死生観・スピリ チュアルケア教育の進め方 神谷 亨, 宮地由佳 ●長江浩幸 ◆293	12:00~12:50 セミナー3 患者就労支援 —自分らしく、いきるを支えるために 山内英子 ●梅田 恵 ◆294
13:00-13:59	13:00~14:00 総会および特別講演 〔特別講演〕地域包括ケアと 死の臨床 山崎章郎 ●三枝好幸			
14:00-14:59	14:10~15:10 震災関連特別企画講演 1 東日本大震災の遺体安置所で 求められた〈祈り〉の形 石井光太 ●蘆野吉和 ◆298	14:10~15:10 教育講演 4 傷ついた癒し人 恒藤 暁 ●林 章敏 ◆252	14:10~15:10 教育講演 5 構造構成医療学の冒険 岡本拓也 ●井上 聡 ◆253	14:10~16:30 シンポジウム 1 自分らしい逝き方 馬淵 淳 寺山心一翁 大井裕子 沼田靖子 田中夏江 岡崎正典 井上実穂 末永和之 ●西村幸祐 ●清水千世 共催：公益財団法人 在宅医療 助成 勇美記念財団 ◆256
15:00-15:59	15:30~17:00 シンポジウム 2 さまざまな場での死の臨床 —「自分らしさ」を支えるために 岩田充永 桑田美代子 石山光枝 石川英昭 ●冢田秀明 ●月山 淑 ◆264	15:30~16:30 招聘講演 私の死生観 —現代医学とスピリチュアリズムの融合 吉田和弘 ●太田恵一朗 ◆255	15:20~17:00 ありがた特別委員会企画ワークショップ 死をみつめる、死について —いろいろな立場からの看取りに ついて考える 柏木哲夫 ●三枝好幸 ●福地智巴 ◆301	
16:00-16:59				
17:00-17:59				
18:00-18:59				

第5会場 岐阜都ホテル 輝	第6会場 大会議室2	ポスター会場 1階 市民ギャラリー 2階 ロビーホール	懇親会会場 岐阜都ホテル ホールルーム B・C
156席	121席	-	-
		9:00~11:00 ポスター受付および貼付	
10:00~10:50 事例検討1 最期まで積極的治療を望んだ事例を通して一幼い子どもをもつ母親のその人らしさに寄り添って 榎間美奈 ●下稲葉順一、岩崎紀久子 ◆310	10:00~10:50 事例検討2 患者が言葉で訴える苦痛とは別の苦痛を捉える一麻薬の持続皮下投与を中止した事例を振り返って 萩谷翔太 ●原 敬、藤田智子 ◆311		
11:00~11:50 事例検討3 「息子の受診が終わるまでは頑張りたい」と多数の医療機関に通い続けた硬口蓋がん患者と家族の関わり 佐藤静子 ●村井美代、小野芳子 ◆312	11:00~11:50 事例検討4 両親との愛着形成障害による疼痛マネジメントへの弊害 吉本 歩 ●本家好文、尾立和美 ◆313	11:00~16:20 ポスター展示	
12:00~12:50 セミナー4 シャネル!ありがとう。ドッグセラピーは緩和ケアの質を向上する 家田秀明 ●伊藤浩明 ◆295	12:00~12:50 セミナー5 医療従事者と家族に向けたツボ療法 齋藤剛康 ●今田 剛 ◆296		
14:10~15:00 事例検討5 「自由に生きたい」と繰り返す患者らしい最期を迎えるための医療者の関わり 木村聖子 ●矢津 剛、柴田恵子 ◆314	14:10~15:00 事例検討6 一般病院における意思決定支援一療養先の選択 小田恵理 ●中谷玲二、松山茂子 ◆315		
15:10~16:00 事例検討7 当院緩和ケア病棟への入院を待つ間に他院で死亡した患者の夫と子への看護外来でのグリーフケア 森麻衣子 ●嘉藤 茂、向井未年子 ◆316	15:10~16:00 事例検討8 最期の処置について本人の意思を確認することによりスタッフ間の信念対立が発生した1事例 越山智子 ●下山理史、田村恵子 ◆317		
16:10~17:00 事例検討9 「介護する者」と「介護される者」の思いに寄り添うとは一障害者となった夫と20年間寄り添った妻の事例 矢尾知恵子 ●関本雅子、門脇睦子 ◆318	16:10~17:00 事例検討10 一般病院で患者の“心”を扱う必要性と限界一希死念慮をもつ1型糖尿病患者との関わりを通して 清水冨果 ●西川満則、石川千夏 ◆319	16:20~17:20 ポスター討議	
		17:30~18:00 ポスター撤去	
			18:00~20:00 懇親会

●は座長・司会 ◆は抄録掲載ページ